

2024-25 RIテーマ
ロータリーのマジック



祝ロータリー創立120周年
Rotary's 120th Anniversary
Founded on February 23, 1905 in Chicago

WEEKLY
Rotary
Club of Toyohashi
RI D2760

2024-25 クラブテーマ
集い、学び、そして実践してこそロータリー
～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～



1950年8月10日創立

村井弦斎の「食文化」を活かした豊橋・東三河のまちづくり

プログラム委員会担当

卓話「村井弦斎の『食文化』を活かした 豊橋・東三河のまちづくり」

豊橋村井弦斎研究会「楽水」会長 伊藤 篤哉 氏



村井弦斎は幕末の時代に豊橋の宮下町で生まれたそうです。村井家は文武両道の家系で、弦斎の成績は非常に優秀でした。弦斎は父の村井清の「日本が恐らく近い将来に敵対する国はロシアである、だからロシア語を学べ」という教えを受け、1年間アメリカに留学し、「多くのことを学んできました。」

弦斎が出版した本の中で、一番売れたのは報知新聞で連載していた「食道樂」という本です。当時の日本は文明開化で、弦斎がアメリカで学んだ食事は大いにもてはやされました。食道樂は30万部売れ、関連本を含めると100万部卖れたそうです。食道樂の基本は恋愛小説ですが、話の中には当時は珍しいとされていた料理が630種類ほど登場しています。

報知新聞が1901年に弦斎と共に書いた「20世紀の予言」という面白い記事があります。その記事では、2001年をテーマに100の予言をしており、無線電話や、ファクシミリ、空調装置、携帯電話、インターネットを予見したようなものもあります。紹介するときりがないですが、弦斎は未来や日本をどの様にするかについて、強く考えていた人物だと言えます。

私は現在、豊橋村井弦斎研究会「楽水」の会長を務めていますが、村井弦斎によるまちづくりの一環として、エムキャンパスフードで弦斎の豆カレーを提供しました。また、弦斎の豆カレーは豊橋市の学校給食でも食べられています。

弦斎の「食物の原則」として、「成るべく新鮮のもの、成るべく生のもの、成るべく天然に近きもの、成るべく寿命の長きもの、成るべく組織の緻密なるもの、成るべく若きもの、成るべく場所に近きもの成るべく刺戟の寡きもの」というものがあり、「料理の原則」としては、「天然の味を失はざる事、天然の配合に近からしむる事、消化と排泄との調和を謀る事、五美を具ふる事」というものがあります。

弦斎は、侍として独立国日本を守ることを子どもの頃から父に命じられ、その中でも洋学を学べと言われており、「和魂洋才」の教えを藩校教授であった父から学び、日本人の伝統的な精神を忘れずに西洋の文化を学び、巧みに両者を融合するためにアメリカ留学に至つ

たのだろうと思います。

実は弦斎は料理ができませんが、奥さんの多嘉子さんが料理上手であり、有名な料理人との親交もあったそうです。弦斎は「食事法の原則」として「飢を待って食すべき事、良く咀嚼する事、腹八分目に食する事、天然を標準とする事」と述べています。当時は1日朝夕の2度の食事だった時代でしたが、軍制の改革で3度の食事になった後も、お腹が空いた時に食べるべきであるという考えは貫きました。

弦斎が考案したカレーは海軍に採用され、毎週金曜日に食べることで海上で曜日を把握することに役立っていたそうです。弦斎は料理だけでなく、調理道具等も考案しており、オーブンや火付け機のようなものも弦斎によって考案されました。また、女性の働き方改革について当時から言及しており、調理時間の短縮に繋がる「味の素」の開発にも協力したそうです。

弦斎の父である村井清は豊橋に生まれた侍です。藩校時習館では砲術指南を行い、大政奉還にも大いに関わった人物です。私がもし豊橋について描く時が来るとしたら、村井清と弦斎の親子がどういった時代を生きていたかについてドラマにしたいと考えています。そのため、豊橋RCの皆さまには村井弦斎や清についてのお話を広めていただけると幸いです。豊橋から日本を元気にするために、今後も弦斎の教える家庭の味を大切にしながら、家族の愛を大切にすることをモットーに、まちづくりを進めていきたいと思います。

卓話者紹介

鈴木 良昌 会員



伊藤篤哉先生は、豊橋松葉町出身で、時習館高校を卒業後、東京の大学へ進学され、その後ホテルオータニに就職されました。東京での飲食文化を肌で感じ、学ばれ、豊橋で当時は珍しいイタリアン料理店の「ボレロ吾妻家」をオープンされました。現在は「ブラウンズ」を経営されています。

(社)日本ソムリエ協会公認ソムリエ、日本地ビール協会ビアジャッジ、調理師、防災士、救急救命士、豊橋市防災リーダー等の資格をお持ちです。まちづくりのリーダーとしては、観光サービス業部会副会長、豊橋発展会連盟副会長、豊橋観光コンベンション協会理事等を歴任されています。また、平成19年には市議会議員に初当選され、本年度は市議会議長を務められています。

委員会報告

疋田 涼 ローターアクト委員長

今期は50周年という大きなイベントがあり、昨年、表浜海岸での清掃活動を行い、先月には記念式典を行うことができました。皆さまのおかげで無事に全ての事業を終えることができましたことを、この場をお借りしてお礼を申し上げます。来期からは、クラブ内の力を蓄えることを目標に進んでいきたいと聞いていますので、皆さまのお力をお借りできればと思います。

「ロータリーの友」読みどころ紹介 岡村 正造 雑誌委員

横組7頁からは「目指せ！防災のTKB48避難所のストレスをいかに減らすか」という題で特集が掲載されており、個人的に目から鱗の話ばかりでした。日本は地震の対策が進んでいる国だと思っていましたが、それより遙か上をいく国がイタリアだそうです。イタリアでは、発災後48時間以内に仮設トイレが設置され、被災地にキッチンカーが向かい、家族単位で入れる丈夫なテントが用意され、PTSDに対するケア等、様々な対応がされるそうです。一方、日本の災害対応のスピードは阪神大震災からの30年の間でほとんど進歩していないそうです。ようやく来年に防災庁を立ち上がるそうですが、是非この記事を読んで活かしていただきたいと思います。

会長挨拶

紅林 友昭 会長

本日は「市電の日」です。豊橋RCは「とよはし市電を愛する会」の立ち上げに大きく関わっています。

2020年10月23日の東愛知新聞に、とよはし市電を愛する会が30周年を迎えたという記事が掲載されており、当時の市電を愛する会会長で当クラブの元会員である大辻太一郎さん、30周年実行委員長として神野紀郎会員、事務局長 鈴木美江氏が節目を迎えた感慨を「会は1990年11月22日に設立。豊橋RCで環境問題を考えた社会奉仕委員会の有志や、関心のある市民らで立ち上げた。活動の柱を街の景観としての「見る市電」、乗車促進を目指す「乗る市電」、まちづくりの研究対象として「考える市電」と定め、「市電の日」や「路面電車の日」でのイベント、研究会、市電カレンダーの発刊など活動を展開してきた」と語っておられます。

1990年11月8日のWEEKLYのニコニコ欄には、市電を愛する会の設立総会に参加された多くの会員の名前が掲載されており、当クラブの会員の多くが市電を愛する会の立ち上げに関わっていたことが分かりました。そして今まで市電を愛する会の会長を豊橋RCの会員が務めていることが多いのはそういった経緯があるからです。

会長報告

ガバナー／ミニー・デジグネット（2027-28年度ガバナー）選出の報告が届きました。※小島洋一氏より変更となりました。
稻沢RC 永井伸治氏

幹事報告

青木 良浩 幹事

例会終了後に4階グリーンルームにて予備理事会を開催します。

ニコニコBOX

松岡 真由美 ニコニコ委員長

- 豊橋村井弦斎研究会「楽水」会長、伊藤篤哉様、ようこそ豊橋RCへ。卓話を楽しみにしております
紅林 友昭 会長 青木 良浩 幹事
- 本日の例会を担当させていただきます
山本 貴浩 プログラム委員長
- 本日の講師、伊藤篤哉さんを紹介させていただきます
鈴木 良昌会員
- 本日卓話をさせていただきます
伊藤 篤哉 様
- 伊藤様の卓話を楽しみにしております
岡田 直樹 副会長
- 本日の卓話を楽しみにしています
高須 博久 村井 総一郎 佐々木 利政 松坂 良太 池田 至 西田 元彦 福井 敬 山本 光伸 伊藤 晴康 各会員
- 本日の例会食は、村井弦斎さんの豆カレーとエビのサラダをみなどで再現いたしました
鈴木 良昌会員
- 本日委員会報告をさせていただきました
疋田 涼 ローターアクト委員長
- 本日、ロータリーの友の読みどころを紹介させていただきました
岡村 正造 会員
- 4月10日は市電の日です。「とよはし市電を愛する会」は、豊橋RCの社会奉仕委員会の活動がきっかけで、1990年に結成されました
神野 紀郎 松井 章悟 黒谷 尚弘 鈴木 邦夫 高須 博久 富田 佳央 伊藤 晴康 岩ヶ谷 光晴 各会員
- 豊橋調理製菓専門学校の入学式が東愛知新聞、東海日日新聞に写真入りで掲載されました
鈴木 良昌会員
- 昨年退会の佐藤脩子さんに会いました。
長濱 貴彦 会員

(順不同)

例会食の説明

鈴木 良昌 会員

本日の例会食は、村井弦斎の食事を再現させていただきました。豆カレーとエビのサラダになります。是非お召し上がりください。

お誕生日おめでとうございます

松井 孝悦 会員(4月11日) 兼子 直久 会員(4月11日)

歌

ソングリーダー 河合 珠美 会員

「春よ来い」

本日のゲスト

豊橋村井弦斎研究会「楽水」会長(豊橋東RC) 伊藤 篤哉 氏

出席報告

河合 勝男 出席委員

当日出席者	66名	計算会員数	91名中25名欠席
総会員数	106名	出席率	72.53%

例会予定

次回のプログラム

4月17日(木) 卓話「中高一貫教育と国際的な教育プログラムの導入」

- 4月24日(木) 卓話「やさしい日本語のお薦め」
- 5月1日(木) 休会
- 5月8日(木) 卓話「豊橋・京都・パリ」—いち団魂世代の歩み

写真の閲覧はこちらから▶



事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内